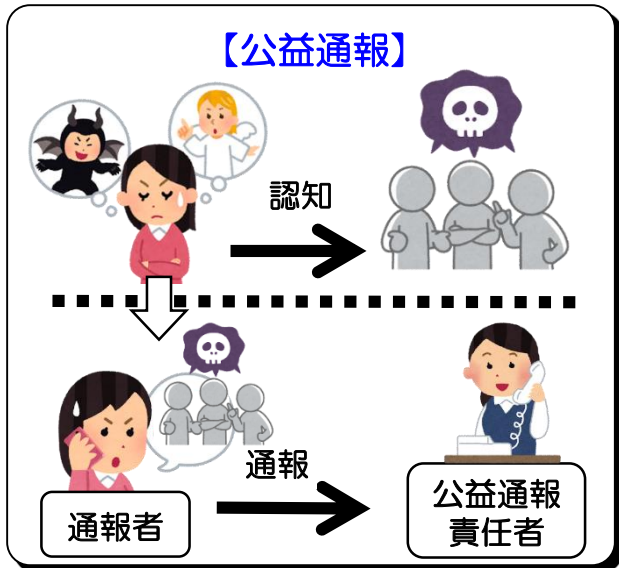


⑩ 公益通報及び公益通報者保護制度を知っていますか

1 公益通報及び公益通報者保護制度とは

公益通報とは、防衛省・自衛隊の隊員等が防衛省・自衛隊又は隊員等の法令違反行為等について、通報窓口に通報することです。

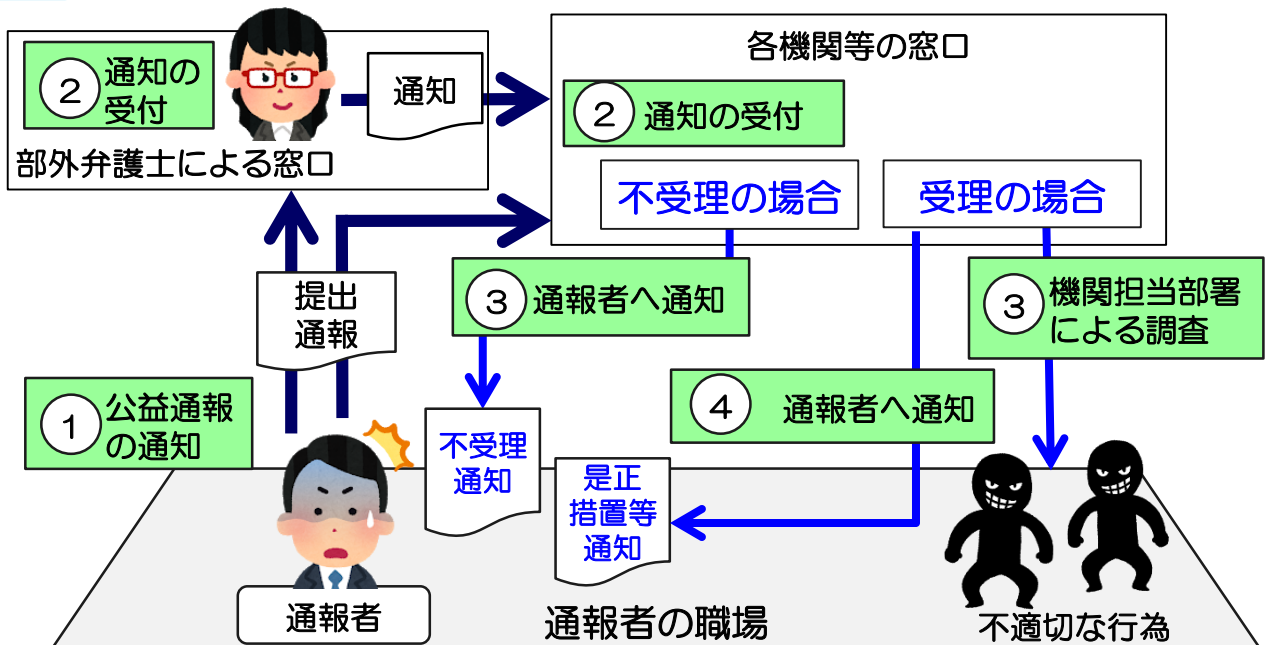
公益通報者保護制度とは、公益通報を行ったことを理由として、通報者が不利益な取扱いを受けることのないよう保護する制度です。



2 公益通報及び公益通報者保護制度はなぜ必要なのか？

公益通報は、外部へ通報される前にリスクを把握し、組織の自浄作用を働かせるために必要です。また、公益通報が機能するためには、通報者が余計な心配をしないで済むよう、保護する制度が不可欠です。

3 公益通報はどのように対応されるのか？



⑩ 公益通報及び公益通報者保護制度を知っていますか

4 公益通報のポイントとは？

項目	内容
通報者	防衛省・自衛隊の隊員等
通報先	部内：各機関等の総務担当部署 部外：部外の弁護士による窓口（ヘルプライン窓口） 防衛省ホームページからアクセス可 ※ ヘルプライン窓口に通報した場合、通報者の承諾がない限り、防衛省本省には匿名で連絡。
通報要領	1 公益通報書の提出（直接持参、郵送、電子メール） 2 匿名の場合は、通報対象事実があると信じるに足りる相当な根拠を示して行われるものに限り、公益通報として受付
通報対象	法令違反行為（全ての法令違反行為及びそのおそれがある場合を含む）が通報対象。 ただし、不正の利益を得る目的、他人に損害を加える目的及びその他の不正の目的のものを除く。 （防衛省では公益通報者保護法上の通報対象事実に限定せず）
通報後の流れ	1 記入漏れや誤記入等を確認し受付 2 所要の要件を満たせば受理及び調査 3 受理されない場合 （1）通報内容が通報対象事実にあたらなことが明白な場合 （2）通報内容が著しくあいまいな場合 （3）通報内容が虚偽であることが明白な場合 （4）その他公益通報としての形式及び実質を備えていない場合



通報により不利益を被らないかという不安があると思いますが、**通報者に対する不利益な取扱い（例えば、通報を理由としての不適切な人事異動や懲戒処分等）は禁止されています。**

また、通報者には、対応終了後、一定期間にわたり（2年間）、不利益な取り扱いを受けていないか、必要なフォローアップが行われます。

ちゃんと見守ってもらえるんですね。

できることなら、自分の職場の中で解決したいですが、そうはいかない場合もあるかもしれませんから、ちゃんと覚えておきます！いよいよとなったら抜く、伝家の宝刀ってとこですね。

